

交通体系の導入に向けた検討の一環として、デマンド型交通の実証実験を行います。

5 誰もがいきいきと暮らせるまち

町民の皆さんが安心して暮らすことができ、豊山町に住んでよかったと思っただけだけでなく、いつまでも健康で、かつ、毎日をいきいきと暮らすことができる環境づくりに取り組んでまいります。

がん検診の受診率向上を図るため、胃がん・乳がん・子宮がん検診におきまして、5000円のワンコイン検診を開始します。また、歯周疾患検診の対象に20代と30代を加え、生涯を通じた歯科健康診査の機会を確保し、歯・口腔の健康の保持・増進を図ります。

認知症施策としましては、認知症のシンボルカラーでありますオレンジ色の花を町全体に咲かせることを通じ、認知症への理解を広める「とよやまオレンジ

プロジェクト」を実施します。また、犯罪被害者の遺族や重大な被害を受けた被害者の方に対する見舞金の支給を開始します。

6 人が繋がるまち

デジタル化が進み、人と人の繋がりが希薄になってきている。今、町民同士が地域のコミュニティの場で交流するほか、地域の活性化を図るための施策などに取り組んでまいります。

総合福祉センター南館ひまわりの浴室を改修し、子どもから高齢者まで、多世代の方がとも交流することができるところを

整備します。

地域経済の活性化や物価高騰対策を推進するため、プレミアム付商品券を発行するほか、町商工会と連携して、フジドリムエアラインズの就航地との交流などを行います。

これからの豊山町を支えていく子どもたちに対して、多様な経験を積むことで、自ら考える力をのばすとともに、豊山町の将来を担っていく人材をみんなで育む機会の創出に取り組んでまいります。

7 人を育むまち

友好姉妹都市であります米国ワシントン州グラント郡に中学生の派遣を行うことで、国際交流への意識を向上させるとともに、町の国際交流の担い手を育成します。また、昨年度に引き続き、子ども議会のほか、とよやまユースフェスや子ども消防クラブの活動を支援してまいります。

多くの町民に郷土に対する誇りと愛着を持ってもらうことを目的に、町の歴史や文化についてのPR動画を大学と連携して作成し、ケーブルテレビやYouTubeを活用して、豊山町の歴史や文化の魅力を町内外に広く発信してまいります。

また、町の身近な歴史や文化を学ぶことで、子どもたちが地域の魅力を発見し、将来、その魅力を発信するとともに、ふるさとである豊山町への愛着を持ち続けることを目的に、子ども向けの歴史講座を開催します。



プレミアム付商品券を発行

